

実 技 試 験

平成23年5月

3級ファイナンシャル・プランニング技能検定 実技試験
資産設計提案業務（FP協会）

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、平成22年10月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）が押さえておくべき関連業法に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 保険募集人の登録を行っていないFPが、顧客から相談を受け、生命保険証券の見方について説明をした。
2. 税理士資格を有していないFPが、無料相談会において、相談者の具体的な納税額計算等の税務相談を行った。
3. 弁護士資格を有していないFPが、遺産相続に関して身内で争っている顧客から依頼を受け、報酬を得る目的で、その顧客の代理人として、単独で法律判断に基づく具体的な和解案を提示した。

問2

下記は、福沢さん（42歳）の家庭のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用することとし、計算結果については万円未満を四捨五入することとする。

<福沢家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数			現在	1年	2年	3年
西暦（年）			2011	2012	2013	2014
平成（年）			23	24	25	26
家族・年齢	福沢 浩一郎	本人	42歳	43歳	44歳	45歳
	智美	妻	41歳	42歳	43歳	44歳
	耕太	長男	12歳	13歳	14歳	15歳
	由姫	長女	10歳	11歳	12歳	13歳
ライフイベント		変動率		耕太 中学入学		由姫 中学入学
収入	給与収入（夫）	1%	724			
	給与収入（妻）	—	100	100	100	100
	収入合計	—	824			
支出	基本生活費	1%	305		(ア)	
	住宅関連費	—	110	110	110	110
	教育費	2%	70			256
	生命保険料・損害保険料	—	33	33	33	33
	一時的支出	—	0			20
	その他支出	—	21			
	支出合計	—	539			
年間収支		—	(イ)	129		
金融資産残高		1%	1,268	(ウ)		

※家族の年齢は、各年12月31日現在のものとし、平成23年を基準年とする。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. 空欄（ア）に入る数値とその求め方：「 $305 \times (1 + 0.01) \times 2 = \underline{616}$ 」
2. 空欄（イ）に入る数値とその求め方：「 $824 - 539 = \underline{285}$ 」
3. 空欄（ウ）に入る数値とその求め方：「 $1,268 \times (1 + 0.01) + 129 = \underline{1,410}$ 」

【第2問】下記の（問3）、（問4）について解答しなさい。

問3

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表の経済用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

経済用語	主な内容
（ア）	家計が購入する商品やサービスの価格変動を表した指数。
（イ）	労働力人口に占める完全失業者の割合。
（ウ）	一定期間に国内で生産された財やサービスなどの付加価値の総額。

1. 空欄（ア）に入る用語は、「消費者物価指数」である。
2. 空欄（イ）に入る用語は、「完全失業率」である。
3. 空欄（ウ）に入る用語は、「マネーストック」である。

問 4

下記<資料>に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

<資料>

[1月5日]	[1月6日]
<p>■東京マーケット(5日)</p> <p>◇円ドル相場(銀行間買い気配)</p> <p>▲ 17時現在 81.95円 0.32(**) 1ユーロ=1.3271^{ドル} 108.76円</p> <p>◇東証1部株価(終値)</p> <p>▲ TOPIX 911.69(-0.11) 日経平均 1万0380.77円(-17.33円) 出来高 17億3202万株</p> <p>◇長期金利(新発10年国債)</p> <p>▲ 312回債 1.155% -0.010</p> <p>◇短期金利(コール)</p> <p>無担保翌日物 0.079%</p> <p>◇金地金店頭価格(対顧客・1^{グラム}) 売り(消費税込み) 3861円</p>	<p>■東京マーケット(6日)</p> <p>◇円ドル相場(銀行間買い気配) (a)</p> <p>▲ 17時現在 83.12円 1.17(**) 1ユーロ=1.3113^{ドル} 109.00円</p> <p>◇東証1部株価(終値) (b)</p> <p>▲ TOPIX 924.51(+12.82) 日経平均 1万0529.76円(+148.99円) 出来高 (c) 23億9781万株</p> <p>◇長期金利(新発10年国債)</p> <p>▲ 312回債 1.210% +0.055</p> <p>◇短期金利(コール)</p> <p>無担保翌日物 0.079%</p> <p>◇金地金店頭価格(対顧客・1^{グラム}) 売り(消費税込み) 3901円</p>

注：問題の性質上、一部の文言を(**)としている。

(朝日新聞2011年1月6日付、2011年1月7日付、経済面)

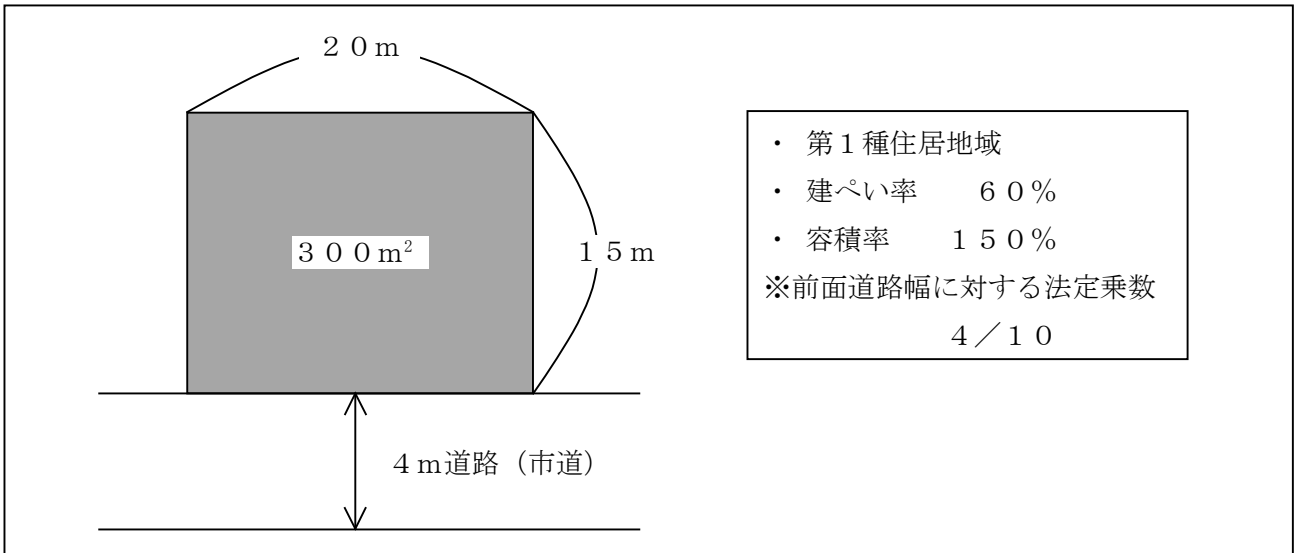
1. (a) は、前日のマーケット(81.95円)よりも、円高になったことを示している。
2. (b) は、東京証券取引所第1部に上場している銘柄のうち、代表的な225銘柄の株価を平均し、かつ、連続性を失わせないように株価の権利落ちなどを修正した平均株価である。
3. (c) は、売買高ともいわれ、取引が成立した株数のことをいう。

【第3問】下記の（問5）、（問6）について解答しなさい。

問5

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合、次の記述の空欄（ア）にあてはまる面積として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については、一切考慮しないこととする。

<資料>



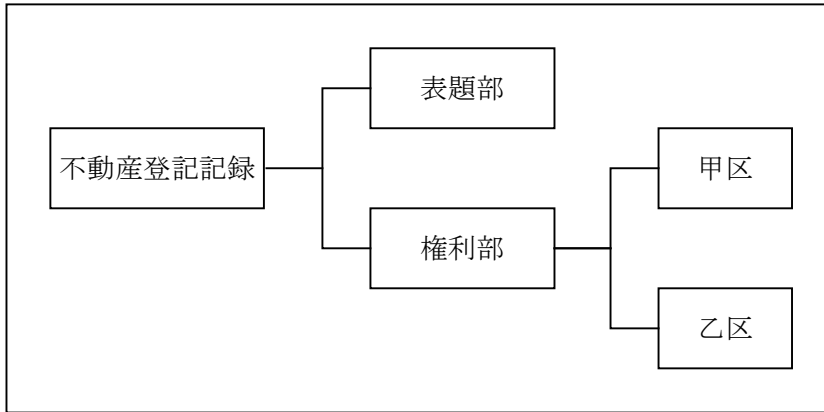
建築物を建築する場合、この土地に対する建築物の建築面積は、最大（ア）である。

1. 180 m² (300 m² × 60%)
2. 450 m² (300 m² × 150%)
3. 480 m² (300 m² × (4 m × 4 / 10))

問6

不動産登記記録に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

<参考：不動産登記記録の構成>




1. 表題部に記載されている土地の所在や地番は住居表示と必ず一致している。
2. 不動産登記記録は、一筆の土地または一個の建物ごとに作成される。
3. 所有権に関する登記事項は、乙区に記載されている。

【第4問】下記の（問7）～（問10）について解答しなさい。

問7

太田和夫さんが加入しているガン保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、和夫さんはこれまでに＜資料＞の保険から、保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号（〇〇〇）△△△△△		保険種類 ガン保険（愛称 ****）	
保険契約者	太田 和夫 様	保険契約者印 	◇契約日（保険期間の始期） 2003年（平成15年） 12月1日 ◇主契約の保険期間 終身
被保険者	太田 和夫 様 契約年齢30歳 昭和48年10月10日生まれ 男性		
受取人	（給付金） 被保険者 様	分割割合 10割	◇主契約の保険料払込期間 終身払込
	（死亡保険金） 太田 由美子 様（妻）		
◆ご契約内容		◆お払込みいただく合計保険料	
主契約 [本人型]	ガン診断給付金	初めてガンと診断されたとき	100万円
	ガン入院給付金	1日につき	日額 15,000円
	ガン通院給付金	1日につき	日額 5,000円
	ガン手術給付金	1回につき	手術の種類に応じてガン入院給付金日額の10倍・20倍・40倍
	死亡保険金	ガンによる死亡の場合は、ガン入院給付金日額の50倍（ガン以外の死亡の場合は、ガン入院給付金日額の10倍）	
		毎回	×, ×××円
		[保険料払込方法] 月払	

太田和夫さんが、平成23年中に初めてガン（悪性新生物）と診断され、その後100日間入院し給付倍率20倍の手術を1回受けた場合、支払われる給付金は、ガン診断給付金（ア）、ガン入院給付金（イ）、ガン手術給付金（ウ）の合計（***）万円である。

注：問題作成の都合上、一部（***）としている。

1. 空欄（ア）に入る金額は、「100万円」である。
2. 空欄（イ）に入る金額は、「150万円」である。
3. 空欄（ウ）に入る金額は、「10万円」である。

問 8

問 7 の〈資料〉を基に、この保険の保障内容に関する次の記述の空欄（エ）にあてはまる金額として、最も適切なものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、和夫さんはこれまでに〈資料〉の保険から、保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

太田和夫さんが、平成 23 年中に交通事故で死亡（即死）した場合に支払われる死亡保険金は、（エ）である。

1. 15 万円
2. 75 万円
3. 100 万円

問 9

生命保険は、保険期間や保障の内容により、大きくは、終身保険・定期保険・養老保険の 3 つに分類される。この 3 つの生命保険の主な特徴についてまとめた下表に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

〈 3 つの生命保険の主な特徴〉

（ア）	定められた保険期間中に死亡または高度障害状態になった場合に保険金が支払われ、満期まで生存していれば、死亡保険金と同額の満期保険金が支払われる。
（イ）	定められた保険期間中に死亡または高度障害状態になった場合に保険金が支払われる。満期保険金はない。
（ウ）	一生涯の保障が続き、死亡または高度障害状態になった場合に保険金が支払われる。満期保険金はないが、途中で解約した場合には、期間の経過に応じた解約返戻金を受け取ることもできる。

1. 空欄（ア）に入る語句は、「定期保険」である。
2. 空欄（イ）に入る語句は、「養老保険」である。
3. 空欄（ウ）に入る語句は、「終身保険」である。

問10

佐野英雄さんは、以下の内容の住宅総合保険に加入している。この住宅総合保険に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、佐野さんはこれまでにこの保険から、保険金を受け取っていないものとする。また、特約は付帯されていないものとする。

保険種目	住宅総合保険
保険期間	1年間
保険契約者	佐野英雄
被保険者	佐野英雄
建物保険金額	5,000万円
家財保険金額	1,000万円

1. この保険では、火災による損害のみが補償され、落雷・ひょう災・雪災などの自然災害による損害については一切補償されない。
2. この保険では、建物と家財の双方が保険の目的物となる。
3. この住宅が火災により全焼した場合、支払われる保険金については、一時所得として所得税が課される。

【第5問】下記の（問11）、（問12）について解答しなさい。

問11

高梨則夫さん（昭和20年11月15日生まれ・平成23年の誕生日において66歳）の平成23年の公的年金収入（見込み額）は、老齢基礎年金と老齢厚生年金の合計250万円である。高梨さんの平成23年の公的年金等の雑所得の金額として、正しいものはどれか。なお、高梨さんの平成23年の収入は、公的年金収入以外にはないものとして解答すること。

<参考：計算式>

$\text{公的年金等の雑所得の金額} = \text{公的年金等の収入金額} - \text{公的年金等控除額}$

<参考：公的年金等控除額の速算表>

納税者区分	公的年金等の収入金額	公的年金等控除額
65歳未満の者	130万円 未満	70万円
	130万円 以上 410万円 未満	収入金額×25%+ 37.5万円
	410万円 以上 770万円 未満	収入金額×15%+ 78.5万円
	770万円 以上	収入金額× 5%+155.5万円
65歳以上の者	330万円 未満	120万円
	330万円 以上 410万円 未満	収入金額×25%+ 37.5万円
	410万円 以上 770万円 未満	収入金額×15%+ 78.5万円
	770万円 以上	収入金額× 5%+155.5万円

1. 120万円
2. 130万円
3. 150万円

問 12

会社員の有馬隆さんは、平成22年中に下記<資料>の医療費等を支払っており、医療費控除の適用を受けるため、所得税の確定申告を行っている。有馬さんの平成22年分の医療費控除の対象となる支出額（合計額）として、正しいものはどれか。なお、支払った医療費等は、すべて有馬さんまたは生計を一にする妻のために支払ったものである。また、保険金等で補てんされた金額はない。

<資料>

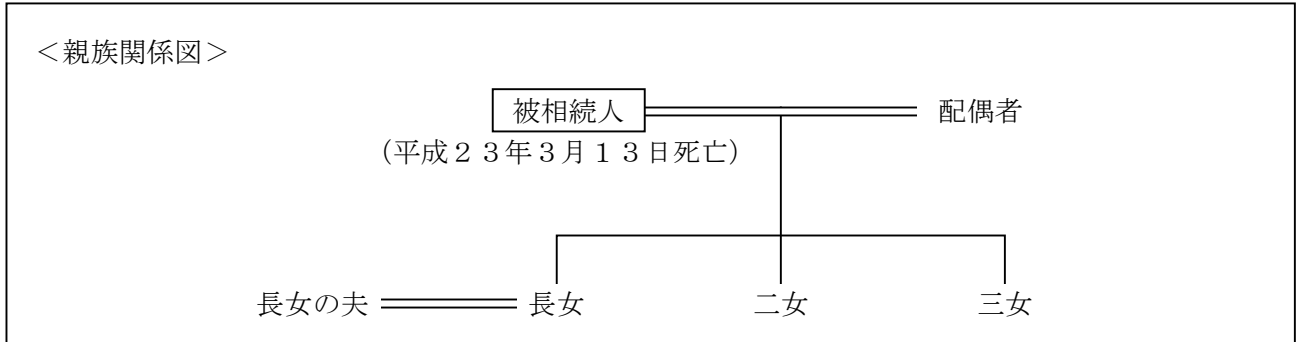
・ 虫歯の治療費	12,000円
・ 健康増進のためのビタミン剤購入費	5,000円
・ 胃潰瘍による入院治療費	150,000円

1. 155,000円
2. 162,000円
3. 167,000円

【第6問】下記の（問13）、（問14）について解答しなさい。

問13

平成23年3月13日に相続が開始された被相続人の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については、一切考慮しないこととする。



1. 配偶者 1/2 長女 1/6 二女 1/6 三女 1/6
2. 配偶者 2/3 長女 1/9 二女 1/9 三女 1/9
3. 配偶者 3/4 長女 1/24 長女の夫 1/24 二女 1/12 三女 1/12

問14

山村貴志さんは、平成22年12月に、叔父から300万円の金銭による贈与を受けた。山村さんの平成22年分の贈与税額に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。なお、平成22年中において、山村さんはこれ以外には贈与を受けていないものとする。

＜贈与税の速算表＞

基礎控除後の課税価格		税率	控除額
200万円 以下		10%	—
200万円 超	300万円 以下	15%	10万円
300万円 超	400万円 以下	20%	25万円
400万円 超	600万円 以下	30%	65万円
600万円 超	1,000万円 以下	40%	125万円
1,000万円 超		50%	225万円

1. 贈与税額は、「300万円×15%－10万円＝35万円」となる。
2. 贈与税額は、「(300万円－110万円)×10%＝19万円」となる。
3. 叔父からの贈与であるため、贈与税はかからず、贈与税額は「0円」となる。

【第7問】下記の（問15）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

清瀬広樹さんは株式会社J Sに勤務する会社員で、平成23年2月7日に待望の第一子が誕生したばかりである。妻の亜美さんは、広樹さんと共働きの会社員であるが、現在、育児休業を取得中であり、子どもが1歳になったら職場復帰をする予定でいる。広樹さんは家族が増えたことを機に、今後の生活設計等について真剣に考えようと思い、ファイナンシャル・プランナー（FP）で税理士でもある加賀さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成23年4月1日現在のものである。

<家族構成>

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業	備考
清瀬 広樹	本人	昭和52年5月15日	33歳	会社員	
亜美	妻	昭和53年8月10日	32歳	会社員	育児休業取得中
葵	長女	平成23年2月7日	0歳		

<保有財産（時価）>

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	450
定期預金	700
個人向け国債	100
生命保険（解約返戻金相当額）	170

<負債残高>

自動車ローン（自家用）：50万円（債務者は広樹さん）

<マイホーム>

広樹さんは、定期預金700万円のうち300万円を頭金とし、民間金融機関で2,200万円の住宅ローンを組んで、2,500万円のマンションを購入したいと考えている。

<その他>

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 15

F P の加賀さんは、清瀬家の（マンション購入後の）バランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に基づいて解答することとし、＜設例＞に記載のある情報以外の情報については一切考慮しないこととする。

＜清瀬家の（マンション購入後の）バランスシート＞

（単位：万円）

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××	自動車ローン	×××
定期預金	400		
個人向け国債	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××	負債合計	×××
不動産（マンション）	2,500		
		[純資産]	(ア)
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 1,200（万円）
2. 1,370（万円）
3. 1,420（万円）

問 16

広樹さんは、住宅ローンの仕組みについて理解を深めておきたいと思い、FPの加賀さんに質問をした。住宅ローンに関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 住宅ローンの返済方法のうち、元金と利息を合わせた毎回の返済額が一定の返済方法のものを「元利均等返済方式」という。
2. 「変動金利型」の場合、当初借入れ時に、最終返済日までの返済額を確定させることができるというメリットがある。
3. 住宅ローンの一部繰上げ返済方法のうち、毎月の返済額をそのままにして、返済期間を短縮する方法を「返済額軽減型」という。

問 17

広樹さんは外貨預金による資産運用に興味を持ち始めており、外貨預金の仕組み等について、FPの加賀さんに質問をした。外貨預金に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 外貨預金には、一般に、為替変動リスクがある。
2. 円貨から外貨に換える際の為替手数料は、通貨の種類を問わず、すべての金融機関において一律に50銭と決められている。
3. 外貨預金の取引において、顧客が円貨を外貨に換える際に適用されるレートをTTMレート、顧客が外貨を円貨に換える際に適用されるレートをTTSレートという。

問 18

広樹さんは、将来、家族全員で海外旅行に行きたいと考えている。仮に、10年後に120万円を貯める場合、年利2%で複利運用するとして、毎年いくらずつ積み立てればよいか。なお、下記<資料>の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算することとし、解答に当たっては、万円未満を四捨五入することとする。また、税金は一切考慮しないこととする。

<資料：係数早見表>

○ 現価係数

※一定期間後に一定の金額を得るための現在の元本額を求める際に用いる。

年利	2.0%
期間	
10年	0.8203

○ 減債基金係数

※一定期間後に一定の金額を得るための毎年の積立額を求める際に用いる。

年利	2.0%
期間	
10年	0.0913

○ 資本回収係数

※一定金額を一定期間で取り崩す場合に毎年受け取れる金額を求める際に用いる。

年利	2.0%
期間	
10年	0.1113

1. 11万円
2. 13万円
3. 98万円

問 19

亜美さんは、広樹さんが万一死亡した場合、自分と残された子どもが生活していけるかどうか不安になり、FPの加賀さんに相談をした。仮に1年後、広樹さんが工作中的の不慮の事故により死亡したものとすると、広樹さんの死亡時点において亜美さんに支給される公的年金の遺族給付として、最も適切なものはどれか。なお、広樹さんは、入社時（22歳で入社）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。

1. 遺族厚生年金のみ
2. 遺族厚生年金と遺族基礎年金
3. 死亡一時金と寡婦年金

問 20

広樹さんは、父親の恭一郎さん（58歳）が昨年病気により入院し、かかった総医療費（健康保険適用分・平成22年11月分）が100万円（自己負担額30万円）と高額であったため、FPの加賀さんに健康保険の高額療養費について質問した。加賀さんが説明した高額療養費に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、恭一郎さんは、全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の被保険者で、所得区分は「一般」である。

< 70歳未満の人 / 1ヵ月当たりの医療費の自己負担（一部負担金）限度額 >

所得区分	医療費の自己負担限度額
上位所得者	150,000円 + (総医療費 - 500,000円) × 1%
一般	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%
低所得者	35,400円

「恭一郎さんの自己負担額は30万円であるため、健康保険から高額療養費として、『30万円 - 自己負担限度額 = (ア)』が支払われます。」

1. 0円
2. 145,000円
3. 212,570円